

## 6. 中浜下水処理場の桜



### ◆所在地

城東区中浜1丁目17番

### ◆概要

中浜下水処理場は、大阪市内で3番目の下水処理場として昭和35年に通水した。場内に整備された「中浜せせらぎの里」周辺には、約300本の桜並木が毎年春に見事な桜のトンネルを作り、多くの人々の目を楽しませている。

## 7. 白山神社



### ◆所在地

城東区中浜2丁目3番15号

### ◆概要

白山神社は、くいはめのかみ 菊理媛神を祭神としている。創建年月は不詳であるが、明治5年(1872年)までは、白山権現と称していた。応永元年(1394年)の頃から中浜・鴨野・森の諸村の氏神であった。天正4年(1576年)織田信長が石山本願寺を攻撃した時、社殿を焼失したが、慶長8年(1603年)豊臣秀頼により再建された。しかし、同19年(1614年)大阪冬の陣による兵火で再び焼失した。元和3年(1617年)再建されるが、その後も幾度かの改築・修理が加えられ現在に至っている。

また、神社の境内にある「いちょう」の木は、大阪府の天然記念物に指定されている。

## 8. 野江水神社



### ◆所在地

城東区野江4丁目1番39号

### ◆概要

みずはのめのおかみ 水波女大神を祭神とし、一般には水神社・水神さま・水神宮・野江神社などと呼ばれている。伝えられるところによれば、天文2年(1533年)三好政長が榎並城を築く際、たびたび水害を被ったので、水火除難の守護神として城内に小さい祠を造営し、祀ったのが起源といわれている。現在の社殿は、明治18年(1885年)の大洪水で倒壊したため、明治21年(1888年)に再建されている。この地は榎並猿樂発祥の地でもある。

## 9. 野江水流地蔵尊



### ◆所在地

城東区野江4丁目1番39号

### ◆概要

大阪北部一帯を襲った、未曾有の大洪水時(明治18年)に、当地に流れ着いたとの謂れがあり、城東区民にとって忘れてはならない出来事の証人として、守り伝えなければならないお地蔵さんとされている。地元町会に守られ、地蔵盆などの行事は欠かさず毎年行われている。

## 10. 大阪信愛女学院



### ◆所在地

城東区古市2丁目7番30号

### ◆概要

学院の歴史は明治17年(1884年)に川口居留地に開校したことに始まる。現在地の城東区古市(当時は東成区千林町)に移転した時に建設されたのが本館で、今でも幼稚園から短大まで続く同学院の中で、中学校校舎の一部として使用されている。(開設:昭和7年(1932年))。また、聖堂は、第25回(2005年)大阪まちなみ賞(大阪都市景観建築賞) 大阪市長賞を受賞しており、街路の角地を生かして聖堂の祭壇を配置し、外壁をセットバックさせて街路と一体になった緑地と水盤を設け、周辺環境への積極的な配慮を行っている。